

市

川

鎌倉市川喜多映画記念館

2022.9.17(土) - 12.12(月)

特別展観覧料

一般：400円 (280円) 小・中学生：200円 (140円)

* () 内は20名以上の団体料金

崑

特別展

映画をデザインする 小津安二郎と市川崑の美学

小津安二郎

映画をデザインする

戦前のサイレント期にその才能を開花させ、戦後は日本を代表する巨匠として一貫した主題を紡いだ**小津安二郎**と、1930年代からアニメーターとしてキャリアを開始し、時代の変化や技術の進歩に呼応しながら多様なジャンルの作品を手がけた**市川崑**。鋭い美的感覚を持ち合わせ、デザイン性に富んだ作品を生み出した彼らは、実はスタイルの近い映画作家といえるのではないだろうか。

本展では、同時代に活躍しながらも、これまで一緒に語られることの少なかった**小津**と**市川**を取り上げ、2人が生きた時代や背景、画面を構成する様々な要素など、〈デザイン〉の視点から検証します。2023年に生誕120年を迎える**小津安二郎**と、デジタル修復された『犬神家の一族』が大きな話題を呼んだ**市川崑**、2人の映画作家の多彩な魅力をお楽しみください。

戦前のサイレント期にその才能を開花させ、戦後は日本を代表する巨匠として一貫した主題を紡いだ**小津安二郎**と、1930年代からアニメーターとしてキャリアを開始し、時代の変化や技術の進歩に呼応しながら多様なジャンルの作品を手がけた**市川崑**。鋭い美的感覚を持ち合わせ、デザイン性に富んだ作品を生み出した彼らは、実はスタイルの近い映画作家といえるのではないだろうか。

小津安二郎と市川崑の美学

特別上映

弁士デビュー50周年記念

澤登翠のかまくら活弁&トーク

弁士デビューから今年で50周年を迎える澤登翠さんの活弁で、戦前のサイレント映画の傑作をお楽しみいただきます。



特別上映

『細雪』上映＋
トークイベント

「市川崑映画のデザイン性」

森遊机さん

映画研究家／書籍編集者

10.15(土) 13:00

70数年もの長き映画人生において、複数の映画会社で、洗練された喜劇から重厚な文芸映画、ドキュメンタリーまで多彩なジャンルを手がけた市川崑監督。彼の作品には、人間が織りなす物語への客観的な眼差しと愛情、そしてこだわりぬいた画面作りへの情熱が共存しています。トークイベントでは、監督との共著刊行や貴重作のソフト化など多方面で市川研究を牽引する森遊机さんに、デザインの視点から市川崑の作家的特徴について解説していただきます。

料金：一般1600円 小・中学生800円（展示観覧料含む）
チケット発売日：9.10(土)

11.19(土)

『結婚哲学』＋ミニトーク 10:30



ドイツからハリウッドに招かれたルビッチの初期代表作で、浮気をめぐる2組の夫婦の騒動を描くコメディ。小津・市川の洗練された作風は、2人が傾倒していたルビッチの影響が大きい。

1924年／アメリカ／白黒（サイレント）／85分／Blu-ray
監督：エルンスト・ルビッチ 出演：アドルフ・マンジュー、フローレンス・ヴィダー、モンテ・ブルー、マリー・ブレイウォーター

『淑女と髯』＋ミニトーク 14:00



ひげ面でパンカラ風の男が、就職のために髯を剃ったところ一気に二枚目になってしまったことから巻き起こる恋愛喜劇。戦前の小津作品を特徴づけるアメリカ映画の影響が色濃い一作。

1931年／松竹／白黒（サイレント）／75分／35mm
監督：小津安二郎 脚本：北村小松 ギャグマン：ゼームス・横 出演：岡田時彦、川崎弘子、飯田蝶子、伊達里子、吉川満子

料金：一般1600円 小・中学生800円（展示観覧料含む）
チケット発売日：10.8(土)

※午前の回と午後の回はそれぞれ別チケットが必要です。

特別上映

『お早よう』上映＋
トークイベント

「小津映画とデザイン」

鈴木一誌さん

グラフィックデザイナー／映画批評家

小津映画を特徴づけるものとして、一貫した主題とともに重要なのが画面の構図です。カメラの動きやアングル、俳優の身振り、色や衣裳へのこだわりといった様々な要素で構成される小津映画は、極めてデザイン的だと言えます。トークイベントでは、自身もデザイナーとして活躍される映画批評家の鈴木一誌さんに、小津とそのデザイン性についてお話していただきます。

料金：一般1600円 小・中学生800円（展示観覧料含む）
チケット発売日：10.8(土)

展示協力（敬称略）

浦野範雄、小津亜紀子、鎌倉文学館、きもの館 志お屋、国立映画アーカイブ、株式会社崑プロ、松竹株式会社、夢科高原映画祭、茅ヶ崎館、中井貴恵、日本映画監督協会、山下和子

デザイン：相馬敬徳
撮影：武田泰廣、武田祐太（武田映像企画）



小津安二郎・絵、浦野理一・表装裂の軸

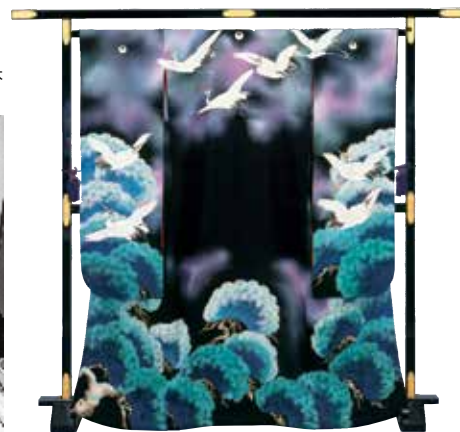


小津安二郎が描いた音笠



小津安二郎デザインの日本映画監督協会ロゴマーク

自宅で仕事をする市川崑と妻で脚本家の和田夏十 撮影：細江英公



『細雪』に登場した着物



① ビルマの豎琴

9.27(火) 10:30

9.28(水)・30(金)・10.2(日) 14:00

ビルマ(現・ミャンマー)に散った無数の命を弔うため、敗戦後も僧侶となって現地に留まる決意をした日本兵を描く反戦映画。透徹した客観性とヒューマンリズムを併せ持つ、市川前期の代表作。

1956年/日活/白黒/116分/35mm
監督:市川崑 脚本:和田夏十 原作:竹山道雄
出演:三國連太郎、安井昌二、浜村純、西村晃、伊藤雄之助、北林谷栄



⑤ 犬神家の一族

〈4Kデジタル修復版〉

10.25(火) 10:30

10.26(水)・28(金)・30(日) 14:00

横溝鉦を巻き起こした市川後期の代表作のひとつ。太い明朝体のクレジット・タイトルも本作から採用された。公開当時の色調と独自の画面サイズが再現されたデジタル修復版での上映。

1976年/角川春樹事務所/カラー/146分/DCP
監督:市川崑 脚本:長田紀生、日高真也、市川崑 原作:横溝正史
出演:石坂浩二、高峰三枝子、草笛光子、島田陽子、小沢栄太郎、加藤武



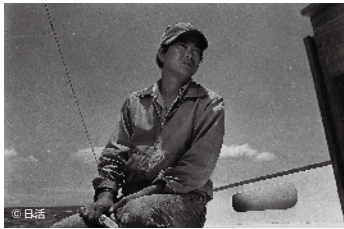
⑨ 生きてはみたけれど 小津安二郎伝

11.15(火)・20(日) 10:30

11.16(水)・18(金) 14:00

没後20年を経て製作されたドキュメンタリー作品。小津映画に携わったスタッフが結集し、ゆかりの深い人物のインタビューと名場面を散りばめながら、小津の生涯とその魅力をたどる。

1983年/松竹/カラー/123分/35mm
監督:井上和男 撮影:兼松照太郎、厚田雄春
音楽:斎藤高順
出演:笠智衆、木下恵介、司葉子、岡田茉莉子、淡島千景、岸恵子、杉村春子



② 太平洋ひとりぼっち

10.2(日) 10:30

9.27(火)・29(木)・10.1(土) 14:00

1962年、日本人として初めて小型ヨットによる太平洋単独無寄港横断に成功した堀江謙一の冒険譚を映画化。大自然とたたかう人間の孤独を豪華キャスト・スタッフ陣で描いた。

1963年/日活=石原プロモーション/カラー/97分/35mm
監督:市川崑 脚本:和田夏十 原作:堀江謙一
出演:石原裕次郎、浅丘ルリ子、田中絹代、森雅之、ハナ肇、大坂志郎



⑥ 愛人

10.30(日) 10:30

10.25(火)・27(木)・29(土) 14:00

避暑地で出会い再婚した映画監督と舞踏家が、互いの家族らを巻き込んで展開する、モダンで洗練された狂騒曲。初期の市川らしい洒脱さが際立つ名作で、若き日のスターたちの競演も見どころ。

1953年/東宝/白黒/87分/35mm
監督:市川崑 脚本:和田夏十、井手俊郎
原作:森本薫「華しき一族」
出演:越路吹雪、菅井一郎、岡田茉莉子、有馬稲子、尾棹一浩、三國連太郎



⑩ 淑女は何を忘れたか

11.18(金) 10:30

11.15(火)・17(木)・20(日) 14:00

東京・山の手の有閑マダムたちの生活が、大阪からやってきた姪によってかき乱される様子をコミカルに描く、戦前松竹のモダニズムが結晶した都会派喜劇。早世した桑野通子のスマートさが際立つ。

1937年/松竹/白黒/71分/35mm
監督:小津安二郎 脚本:伏見晃、ゼームス・横田
出演:栗島すみ子、斎藤達雄、桑野通子、佐野周二、飯田蝶子、吉川満子



③ 東京オリンピック

10.10(月・祝) 10:00

10.12(水)・14(金)・16(日) 14:00

東京オリンピック(1964年)の公式記録映画。最先端の技術を駆使し、市川らしいシャープな演出が冴える一方、その独創性から「記録か、芸術か」の論争にまで発展し、後世にも多大な影響を与えた。

1965年/東京オリンピック映画協会/カラー/170分/35mm
総監督:市川崑 脚本:和田夏十、白坂依志夫、谷川俊太郎、市川崑



⑦ あなたと私の合言葉 さようなら、今日は

11.3(木・祝) 10:30

11.1(火)・5(土)・6(日) 14:00

大映のオールスターが出演したお正月映画。〈嫁入り前の父娘〉を主題に、小津安二郎デザインの日本映画監督協会ロゴマークが登場するなど、敬愛する小津へのオマージュが随所に散りばめられている。

1959年/大映/カラー/87分/35mm
監督:市川崑 脚本:久里子寧、舟橋和郎
原作:久里子寧
出演:若尾文子、佐分利信、京マチ子、野添ひとみ、川口浩、船越英二、菅原謙二



⑪ 彼岸花 〈2Kデジタル修復版〉

11.29(火) 10:30

11.30(水)・12.2(金)・4(日) 14:00

娘の行く末を憂う親とそれぞれの人生を生きようとする娘たちの人間模様を豪華キャストで描いた、小津映画初のカラー作品。染色作家・浦野理一によるモダンで品のある着物が画面に華を添える。

1958年/松竹/カラー/118分/DCP
監督:小津安二郎 脚本:野田高梧、小津安二郎
原作:里見淳
出演:佐分利信、田中絹代、山本富士子、有馬稲子、久我美子、浪花千栄子



④ 細雪

10.16(日) 10:30

10.10(月・祝)・13(木) 14:00

【特別上映】10.15(土) 13:00

大阪船場に暮らす商家の四姉妹を描いた谷崎の名作を、市川が悲願の映画化。当時の着物を再現するため、綿密な考証を経て120着が新たにあつらえられ、移りゆく時代の絢爛たる世界を描き切った。

1983年/東宝映画/カラー/140分/DCP
監督:市川崑 脚本:市川崑、日高真也
原作:谷崎潤一郎
出演:佐久間良子、岸恵子、吉永小百合、古手川祐子、伊丹十三、石坂浩二



⑧ 晩春 〈4Kデジタル修復版〉

11.6(日) 10:30

11.2(水)・3(木・祝)・4(金) 14:00

娘の結婚をめぐり、すれ違いつつ互いを思いやる父と娘を描いた物語。原節子が初めて小津映画に出演し、本作から小津と野田高梧の共同脚本が始まるなど、後期の小津作品の基調を成す重要な作品。

1949年/松竹/白黒/108分/DCP
監督:小津安二郎 脚本:野田高梧、小津安二郎
原作:広津和郎「父と娘」
出演:原節子、笠智衆、月丘夢路、杉村春子、宇佐美淳、三宅邦子



⑫ お早よう 〈2Kデジタル修復版〉

12.4(日) 10:30

11.29(火)・12.1(木) 14:00

【特別上映】12.3(土) 13:00

東京郊外の建売住宅地を舞台に、親子のすれ違いやご近所付き合いなど、子どもを中心とした何気ない日常生活をユーモラスに描く。色彩を多様に用い、デザイン的な構図が際立つなど遊び心溢れる一作。

1959年/松竹/カラー/94分/DCP
監督:小津安二郎 脚本:野田高梧、小津安二郎
出演:笠智衆、三宅邦子、佐田啓二、久我美子、設楽幸嗣、島津雅彦

特別展観覧料

一般 400円(280円)

小・中学生 200円(140円)

* () 内は20名以上の団体料金

* 鎌倉市民(市内に住所を有する方)は展示観覧料無料です。入館の際に住所が確認できる証明書(運転免許証、国民健康保険証等)をご提示ください。

映画鑑賞 (展示観覧料含む)

一般 1000円 小・中学生 500円

特別上映 (展示観覧料含む)

一般 1600円 小・中学生 800円

チケット発売開始日

9月の上映作品(①～②) 9月1日(木)

10月の上映作品(③～⑥) 9月10日(土)

11・12月の上映作品(⑦～⑫) 10月8日(土)

チケット取り扱いお問合せ先

川喜多映画記念館窓口

0467-23-2500

作品により映像・音声必ずしも良好でない場合があります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご承知ください。

Screening Schedule

9月	関連上映 映画をデザインする 市川崑篇 チケット発売日：9.1(木)	27 (火)	10:30	ビルマの堅琴 (116分)	14:00	太平洋ひとりぼっち (97分)
		28 (水)			14:00	ビルマの堅琴 (116分)
		29 (木)			14:00	太平洋ひとりぼっち (97分)
		30 (金)			14:00	ビルマの堅琴 (116分)
10月	関連上映 映画をデザインする 市川崑篇 チケット発売日：9.10(土)	1 (土)			14:00	太平洋ひとりぼっち (97分)
		2 (日)	10:30	太平洋ひとりぼっち (97分)	14:00	ビルマの堅琴 (116分)
		10 (月・祝)	10:00	東京オリンピック (170分)	14:00	細雪 (140分)
		12 (水)			14:00	東京オリンピック (170分)
		13 (木)			14:00	細雪 (140分)
		14 (金)			14:00	東京オリンピック (170分)
		15 (土)			13:00	【特別上映】細雪 (140分)+トークイベント
		16 (日)	10:30	細雪 (140分)	14:00	東京オリンピック (170分)
		25 (火)	10:30	犬神家の一族 (146分)	14:00	愛人 (87分)
		26 (水)			14:00	犬神家の一族 (146分)
		27 (木)			14:00	愛人 (87分)
		28 (金)			14:00	犬神家の一族 (146分)
11月	関連上映 映画をデザインする 市川崑×小津安二郎篇 チケット発売日：10.8(土)	1 (火)			14:00	あなたと私の合言葉 さようなら、今日は (87分)
		2 (水)			14:00	晩春 (108分)
		3 (木・祝)	10:30	あなたと私の合言葉 さようなら、今日は (87分)	14:00	晩春 (108分)
		4 (金)			14:00	晩春 (108分)
		5 (土)			14:00	あなたと私の合言葉 さようなら、今日は (87分)
		6 (日)	10:30	晩春 (108分)	14:00	あなたと私の合言葉 さようなら、今日は (87分)
		15 (火)	10:30	生きてはみたけれど 小津安二郎伝 (123分)	14:00	淑女は何を忘れたか (71分)
		16 (水)			14:00	生きてはみたけれど 小津安二郎伝 (123分)
		17 (木)			14:00	淑女は何を忘れたか (71分)+上映解説
		18 (金)	10:30	淑女は何を忘れたか (71分)	14:00	生きてはみたけれど 小津安二郎伝 (123分)
		19 (土)	10:30	【特別上映】結婚哲学 (85分)+ミニトーク	14:00	【特別上映】淑女と髯 (75分)+ミニトーク
		20 (日)	10:30	生きてはみたけれど 小津安二郎伝 (123分)	14:00	淑女は何を忘れたか (71分)
12月	シネマウィーク チケット発売日：10.8(土) 一般：1200円 小・中学生：600円	22 (火)	10:30	コーダ あいのうた (112分)	14:00	偶然と想像 (121分)
		23 (水・祝)	10:00	梅切らぬバカ (77分)	12:00	偶然と想像 (121分)
					15:00	梅切らぬバカ (77分)*
		24 (木)	10:30	梅切らぬバカ (77分)	14:00	コーダ あいのうた (112分)*
		25 (金)	10:30	コーダ あいのうた (112分)	14:00	偶然と想像 (121分)
		26 (土)	10:30	偶然と想像 (121分)	14:00	コーダ あいのうた (112分)*
		27 (日)	10:00	梅切らぬバカ (77分)	12:00	コーダ あいのうた (112分)
					15:00	梅切らぬバカ (77分)*
		29 (火)	10:30	彼岸花 (118分)	14:00	お早よう (94分)
		30 (水)			14:00	彼岸花 (118分)
		1 (木)			14:00	お早よう (94分)
		2 (金)			14:00	彼岸花 (118分)
12月	映画をデザインする 小津安二郎篇 チケット発売日：10.8(土)	3 (土)			13:00	【特別上映】お早よう (94分)+トークイベント
		4 (日)	10:30	お早よう (94分)	14:00	彼岸花 (118分)
		6 (火)	10:30	リフレクション (127分)	14:00	ドンバス (121分)
		7 (水)	10:30	ドンバス (121分)	14:00	ドンバス (121分)
		8 (木)	10:30	ドンバス (121分)	14:00	アトランティス (109分)+上映解説
		9 (金)	10:30	リフレクション (127分)	14:00	ドンバス (121分)
		10 (土)	10:30	アトランティス (109分)	13:30	【トーク付き上映】ドンバス (121分)+トークイベント
		11 (日)	10:30	アトランティス (109分)	14:00	リフレクション (127分)
		6 (火)	10:30	リフレクション (127分)	14:00	ドンバス (121分)
		7 (水)	10:30	ドンバス (121分)	14:00	ドンバス (121分)
		8 (木)	10:30	ドンバス (121分)	14:00	アトランティス (109分)+上映解説
		9 (金)	10:30	リフレクション (127分)	14:00	ドンバス (121分)
		10 (土)	10:30	アトランティス (109分)	13:30	【トーク付き上映】ドンバス (121分)+トークイベント
		11 (日)	10:30	アトランティス (109分)	14:00	リフレクション (127分)

*バリアフリー上映

展示解説

2022.9.24(土)、10.22(土)、11.12(土) 各日14:00～(約40分)

上映解説

2022.10.29(土)、11.17(木)、12.8(木) 各日午後の上映終了後(約40分)

展示の見どころ／上映作品の解説を、学芸員が映像資料室で実施します。(要展示観覧料)



Kamakura City Kawakita Film Museum

鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

0467-23-2500

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(9.19、10.10、12.12は開館)、9.20(火)、10.11(火)

主催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。詳しくはお問合せください。

<https://kamakura-kawakita.org>

旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

一般公開(無料)：10月1日(土)、2日(日)

特別公開(要展示観覧料)：11月1日(火)～6日(日)

当館敷地内に建つ旧和辻邸をご覧ください。

※いずれの公開も天候等の事情により中止となる場合があります。

12月1日(木)は映画の日

展示観覧料無料

映画をご覧になる場合は、鑑賞料金(一般1000円、小・中学生500円)が必要です。